

カトリック仙台司教区

東日本大震災救援・復興活動ニュースレター

第1号 2011年4月30日

〒980-0014 仙台市青葉区本町1-12-12

カトリック仙台司教区事務局

Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378

発行人：平賀徹夫 編集：小松史朗

義援金振替口座：02260-9-2305

名義：カトリック仙台司教区本部事務局

ありがとう！届いています！

仙台教区を応援して下さる皆様

震災直後からご心配をいただき、電話やファクシミリ、そして手紙でたくさんの励ましをいただきました。皆様のお祈りやお見舞いの言葉にどれほど心動かされ、励まされたことでしょうか。心より感謝申し上げます。

被災直後は本部がある元寺小路教会近辺も電気、ガス、水道が止まり、被災が甚大であった地域の安否確認をすることもままなりません。電話がつながり始めたのが4日後の14日、混乱の中でニュースをじっくり見るゆとりもなく、被災地が広大であり、その後の津波の被害が甚大であることを把握するにも時間を要しました。司祭や信徒、カトリック関連事業所の職員や園児・生徒の安否確認は通信が途絶えた中で非常な困難をともないました。



岩手県釜石教会は床上70センチまで津波が押し寄せ、教会直下はがれきの山となりました。直後から救援活動を開始しています

写真左側上が大船渡教会と幼稚園の敷地。直下まで津波が押し寄せ、すんでのところ幼稚園バスが流されるところであった。納骨堂は流された。(会津神父談)



全小教区53カ所のうち被害が大きい教会は14カ所（岩手県①大船渡、②釜石、宮城県③北仙台、④塩竈、⑤東仙台、⑥元寺小路、⑥八木山、⑦築館、⑧米川、⑨古川、⑩白石、福島県⑪会津若松、⑫湯本、⑬白河、⑭須賀川）です。何らかの被害がある小教区は12カ所ですが、詳細な見積もりができず被害金額が確定しません。4月7日の余震で再度被害を受けた教会も多く、現在取りまとめ中です。また、原町教会（福島県南相馬市原町）は放射能汚染地域24.5kmに位置し、別の被害を受け続けています。

被害状況等詳しい況はインターネットでもご覧になれます。

<http://maps.google.co.jp/maps/ms?hl=ja&ie=UTF8¤t=3,0x34674e0fd77f192f0xf54275d47c665244,0&msa=0&msid=212684037041389941190.00049fdac9ff74bb703c1&z=7>

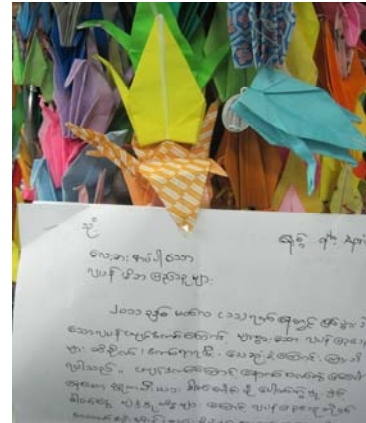


被害を受けた信徒の自宅玄関部分。へどろが床に堆積し悪臭を放っている



アメリカニューヨークの学校が皆で祈っていると励ましのメッセージ等たくさんの祈りが届いています

教区事務局を始め、小教区にも日本全国からお祈りや励ましの便りが続々と届いています。



スリランカから送られてきた大量の折り鶴と励ましと連帯のメッセージ



大阪教区から届いた応援メッセージ。塩竈教会ベースに掲げられています。中には英語やハンダール、ペルシャ語のメッセージ

仙台教区管内の被災状況

小教区における人的被害（カトリック系諸事業体信徒職員も含む）は4月5日現在、震災関連死も含め12名、行方不明者7名です。信徒の家屋等で全壊・浸水の被害件数は58件です。

修道院からの報告では人的被害に関してはありませんが、福島県コングレガシオン・ド・ノートルダム花園町修道院は瓦、壁が損壊し使用不能、仙台市聖ウルスラ修道会管区本部は裏門らせん階段が使用不能、大阪聖ヨゼフ宣教修道女会仙台修道院は外壁が壊れ大規模修理が必要等、大きな被害が3件、その他の被害が18件寄せられています。

幼稚園・保育園部門では、全57施設のうち、職員の人的被害は受けておりませんが、園児死亡6名、園児の家族の死亡7名、園児自宅の全壊24件、半壊・浸水5件が寄せられています。又、園舎の被害が大きいもの2件、その他の被害報告が16件です。

小・中・高・大学等教育関係事業所全16カ所のうち、人的被害の報告はありません。仙台市の聖ウルスラ学院高等学校の学生の家族2名が死亡しています。学生の自宅全壊は33件です。施設に関しては仙台白百合学園の体育館天井が破損し、聖ウルスラ学院の体育館の天井が落下した（復旧工事に約3ヶ月）等2件、その他7件の報告を受けています。

医療・福祉、その他の事業所関係では、人的被害の報告は受けておりません。施設の被害としては、スペルマン病院が被害総額5,000万円、社会福祉法人カトリック児童福祉会の特養暁星園、パルシア、経費老人ホームあけの星2つの保育園等被害合計1,200万円、その他の被害が2カ所です。

※いずれも、当初の報告が更新されておらず、建設業者が繁忙を極め被害金額が集計できない状態にあります。また、4月7日以降に大きな余震が続き被害が拡大していますが現在調査中です。

もっと早くお礼状をと思いながらも救援活動に没頭しておりました。全国からのご支援に頭が下がります。どうぞお許しください。3月16日から開始した仙台教区サポートセンターの救援活動について次号からお伝えします。